

横浜市議員

長谷川 えつこ

レッツゴー 長谷川通信

2021年4月号
vol.11

第1回定例会(2/1~3/23)予算第一特別委員会にて質問をいたしました

> こども青少年局【質問】

1. 感染症流行下での妊娠期からの切れ目のない支援
2. 子育て支援の充実
3. 発育・発達に心配のある乳幼児に対する支援
4. こどもの貧困対策
5. ファミリーホーム事業の推進
6. 児童虐待・DV対策における保護者支援・加害者更生支援
7. 青少年のひきこもり
8. ヤングケアラー
9. その他

東日本大震災から10年が経ちました。まだ、震災時の傷跡はぬぐいきれておりませんが、「絆」という言葉を胸に、人々は支え合い、復興を諦めず、今日まで歩み続けてきたのだと思います。

当時の経験を踏まえて、コロナ禍での妊娠、出産、子育てについて質問いたしました。

私が掲げる「7つの政策」で「児童虐待ゼロ！」は政策の一番最初に掲げているもので、虐待が疑われ

る子どもについての早期対応と虐待の再発予防のための支援は重要な対策です。

コロナ禍により外出自粛や休業等の状況が続く中、生活不安やストレスにより児童虐待やDVの相談件数が増加しています。



長谷川 えつこ 委員
立憲・無所属フォーラム 栄区

子どもを虐待から守るため児童相談所は迅速に保護をすることが必要であり、関係機関と連携した子ども・保護者への支援、心のケアは大変重要なので、地域におけるネットワークを充実させ、関係機関との連携をより強化し、虐待を無くしていく取り組みをしていくよう強く訴えました。

> 建築局【質問】

1. 建築局予算
2. 総合的な空家等対策の推進
3. 省エネ住宅普及推進事業
4. 建築関係の窓口サービス
5. 公共建築物の整備の推進
6. 大規模盛土造成地滑動崩落防止事業の進捗
7. 戦略的な土地利用誘導
8. その他

本会議では「横浜市空家等に係る適切な管理、設置等に関する条例」が議決され、管理不全な空家に関して、実効性を持った対応がこれまで以上に期待されるようになりました。

今回の条例では、適切な管理に関する「所有者の責務」、法の規定よりも早い「標識の設置」、所有者がいない場合の

局所的な危機への「対応的危機回避設置」が主なポイントとなっています。

特に所有者の適切な管理の義務化や、借地の場合に土地所有者から建物所有者に対して働きかけをしてもらうことは、行政として踏み込んだ指導にもつながり重要であります。昨年度の国の住宅市場動向調査では、中古戸建住宅を購入して住み替えを行った世帯主の年代は30代が最も多いという結果でした。空家の流通の取り組みのひとつとして、令和3年度から、子育て世帯に向けて空家の改修費補助をすることで安心して子育てができる住まいの確保を後押しし、それにより高齢化が進む中で多様な世代が住む持続可能な住宅地を形成していくことへつながります。



長谷川 えつこ 委員
立憲・無所属フォーラム 栄区